



これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークがなっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト (若さ、積極、広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。

しょうせい

翔生

vol.37

平成 16 年 2 月号

発行

全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847
<http://www.icci.or.jp/>

編集

■広報委員会
担当副会長 清水 雅文
委員長 丸山 信仁
委員 小嶋 利弘
副委員 山本 朝孝
委 東郷 隆浩
川井 真太郎

山田 英樹
清水 俊智二
菊池 健二



平成 15 年度
全国商工会議所
青年部連合会長
鈴木 悌介

「逆転の発想」

しっかと見定めました！

全国からの3千名を超えるご登録、

ありがとうございます。米子の地で皆様とお会いできて、大変嬉しく存じました。全ての皆様お一人お一人とお話させていただくことは叶いませんでしたが、多くのYEGが集い、その元気を共有できたことは得がたい機会でありました。大懇親会のあのパワーも素晴らしかったですが、記念式典での皆さんの真剣な眼差しにも感銘を受けました。また、今回は残念ながら色々な理由で来ていただけなかったYEGの皆様にも、大会の盛会をご報告すると共に、次年度は是非ご参加いただきたくお願いいたします。

「こんな大変な時に大イベントではしゃいで何になるの？」というご意見もあるかと思いますが、しかし「こういう時代だからこそYEGの出番！」と

常々申し上げております鈴木といたしましては、そのYEGの仲間と文字通り一堂に会してお会いできるこの大会には単なるお祭り騒ぎではない大きな意味があると思います。もし、その意味が見えにくいのであれば、見えるように変えていくことがYEGたる者のとるべき行動だと思えます。

変わるとは「視点を変える、視野を広げる、新しい行動パターンに挑戦すること。そんな気づきを得た新しいご自分に出会うことができましたか？」「知恵を集め、力を束ね、お互いを活か合う」そんな素晴らしいYEGの仲間との新たな出会いはありましたか？大会の終わった今、ご参加いただいた全国からのYEGのお一人おひとりの心の中にポツと新たな火種を点けることができたと思えましたら、大会の主催者としてこの上ない幸いです。

今回の全国大会も、全国の皆様には見えないところで大会の主管である鳥取県連、そして開催地である米子YEGの皆様のご協力がありました。その大変な思いのご努力がありました。その上に成り立っている大会であるということをご今一度知っていただきたいと思えます。それがYEGの友情だと思えます。「相手のことを慮る」、これ商売の基本だと思えます。

今回の大会を主管してくださった3単会、会員250名という日本一小さい鳥取県連と、開催地として見事大成功裏に大会を運んでくださった米子YEGのご努力に最大限の拍手を贈りたいと存じます。「ハンディキャップをメリッとに変える」という心意気を体を張って示してくれたあなたがたこそ、真のYEGです。全国のYEGの皆様、来年は北海道の帯広でお会いしましょう。

Contents

米子大会を終えて

鈴木YEG会長挨拶

荒濱大会会長挨拶

足立実行委員長
挨拶

6日 ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
第2分科会
第3分科会
大懇親会
ビジネス交流会
まちおこし物産展

8日 記念式典
記念講演
エクスカージョン

YEG HPライブラリ

メールマガジン
十四～十八号



第23回全国大会
米子大会
大会会長
荒濱 健太郎

「感謝！感謝！感謝！」

第23回全国大会 米子大会は、全国から3,018名にのぼる多くのYEG仲間の御参加により、成功へと導いていただきました。

この感激は、言葉に尽くせません。心より御礼を申し上げます。

米子大会は、鈴木悌介平成15年度商青連会長が掲げる「YEGが創る美しい日本」自分から、自分らしく、皆のために」をスローガンに、鳥取県連250名、日本一小さい県連で準備、運営を行ってまいりました。

鳥取県は、北前船による国内交流をはじめ、アジア対岸諸国との交流の歴史があり、現在も環日本海国際交流における西の玄関口であります。

小さい県でありながら交流の拠点である鳥取県で、YEGの仲間が集い、語り、その中で転機になる何かをみつけていただけましたでしょうか。生まれたのなら、何にも勝る喜びです。

みんな、みんなありがとう！！



YEGが創る美しい日本。

人の集う まちづくり。

その実現を目指し、次の言葉を皆様に贈ります。

人に何かをしてもうたときより

人に何かをしてあげて

感謝されたときのほうが嬉しい

それが誰かのためになるのなら、

もう少し頑張ってみようと、カも湧いてくる。

本日の喜びは、「5.15」ことから生まれる

人のために尽くすこと、人のために立つこと、それは、あなた

の人生を豊かにしてくれる。

最後になりましたが、米子大会を成功へと導いていただいた多くの関係機関、関係各位に心より感謝を申し上げますと共に、今後益々のご健勝ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

大会期間中、不行き届きな点が多々ありました事、大会会長の力不足をお詫び申し上げ、今大会を契機に鳥取県商工会議所青年部連合会が「人の集う まちづくり」を基本理念に、より一層地域に貢献できる活動に邁進する事を誓い、感謝のご挨拶とさせていただきます。





全国大会を終えて



第23回全国大会
米子大会
大会実行委員長
足立 耕太郎

まず以って、第二十三回全国大会米子大会が無事、盛大に開催させていただく事が出来ました。本日に商工会議所をはじめ、関係機関、諸団体、OBの皆様、ご協賛企業の皆様、そして他ならぬ全国のYEGの皆様にご心より御礼申し上げます。

この度、開催地米子を中心とした全国で一番小さい三単会の鳥取県が、全国大会を主管する事は、鈴木会長が言われる「無茶はいけないが無理をしてみよう」の言葉とおりの道のでした。無謀とも思えるこの取り組みを、商青連をはじめ全国の皆様には本当にご心配をお掛けしたと思います。しかし、自分から自分らしく、大会を機にもう一度自分たちの故郷を見つめ直す素晴らしい時間を与えていただきました。「大都会に真似の出来ない、発想の転換をしようじゃないか」と実行委員会、約

一年間かかって皆の意見の到達したコンセプトです。我々のできる事には限りがありま

す。我々のできる事には限りがあります。しかし、我々にしか出来ないこともあります。それは、精一杯の笑顔でおもてなしを徹底的にする事です。「この地に来ていただいた皆さんと出来るだけ触れ合い、語り合い、そしてもう一度この鳥取県に大事な家族、社員の方々と来ていただける大会を目指そう」とメンバー全員が力を束ね、この大会を向える事が出来ました。この思いが早くも全員に伝わった。この時間はかかりませんでした。それは少人数、三単会しかない二五〇人のメンバーだったからです。この少数はデメリットであるが、メリットにもなりえました。私は常に「思いは届く、夢は叶う」を座右の銘とし、様々な無理難題を実行委員会に投げつけ、わがままを通していただきました。本当にメンバー全員には感謝しきれません。

その一つとして一年前より大会記念講演に、大韓民国前大統領、金大中氏に参加を依頼し、筑紫哲也氏と片山知事との三者による、鼎談を企画しました。当初は誰にも相手にされず苦労しましたが、「この地方都市で実現することこそ意義がある」と説得し、日商、商工会議所、鳥取県、米子市と最後にはひとつにまとまり、熱い情熱を持って交渉が始まり、9月には鈴木会長、知事、市長の親書を持参し訪韓しました。しかし十月に残念な

から結果は「体調不良のため来日を見合わせる」と一報が入り、涙を飲みました。しかし、この米子大会の意義が充分伝わったのか、米子大会へのメッセージを頂ける上、夢の鈴木会長との対談も約束して頂き、急ぎよ十月三十一日、大会一週間前に実現しました。この時の感激は、なにもにも換えられないものでした。大会当日は、諸会議の開催と同時に三つの分科会を実施させていただきました。

境港分科会は、鬼太郎列車でノスタルジックな街、境港の水木しげるロード、水木記念館、松葉ガニの試食と、大入り袋が出る盛況で、米子分科会は「逆転の発想がビジネスを変える」をテーマに超辛口、春山満氏のトークに感激し、大山分科会では花回廊館長自ら講演していただき、晩秋色鮮やかな大山を巡り自然を満喫していただきました。

大懇親会は、米子らしく派手な演出？で地産地消を基本に4会場を様々な食材で楽しんでいただき、ブロック大会同様、実行委員長の歌で始まり縁満開バンドで閉めさせていただきました。二次会は歓楽街朝日町がYEG色に染まり全国の友情の交流が、夜が明けるまで続きました。

大会二日目の式典は、厳肅かつ米子らしく環日本海交流を散りばめた会場満席の中、御来賓の挨拶はもとより、次年度「帯広」への大会旗の授与に至るまで感動的なものでした。

講演会は「ニュース23」のテーマの演奏者に出演をお願いし、まさにこの米子大会で筑紫哲也氏と片山知事の夢のビック対談を「ニュース23」そのままのリアルタイムで、「逆転の発想」を語っていただきました。限られた時間でしたが、参加者メンバーには素晴らしいひと時を過ごしていただいたと思います。

大会を通じて、ビジネス交流プラザでは全国から元気ある「逆転の発想」をテーマとした成功事例として新しいビジネスチャンスの提案を、全国まちおこし物産展では地元の物産を中心に全国から四十店舗の出展があり、抽選会やスタンブラリー等、様々な工風がなされ述べ一万人の参加者となりました。エクスカージョンも高知YEGの友情ある協力をいただき、「竜馬と土佐の食(酒)文化体験ツアー」を銘打ち、五〇名を超える参加者で大いに盛り上げていただきました。

振り返れば反省すること幾千かですが、ただ天候が三日間秋晴れで暖かく、大きな事故もなくほとんどクレームがなかったことがいちばんの喜ばしいことです。

最後にこの少ないメンバーの対応に、全国の皆さんにおもてなしが行き届かなく、大変ご迷惑をお掛けしたと思います。この場をお借りして本当に申し訳ありませんでした。そして暖かい友情をありがとうございました。また是非、この地でお逢いしましょう。

では、鳥取にきたらう！ “だんだん”



6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」
第2分科会
「米子分科会」
第3分科会
「大山分科会」
大懇親会

YEGビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記念式典

記念講演

全国まちおこし物産展

エクスカージョン



名峰・国立公園「大山(だいせん)」のすそ野に広がる自然の地形が活かされた戦略性の高いコース、グリーンパーク大山ゴルフ倶楽部。ここに三度の飯よりゴルフ大好きメンバーが集合し、日頃の練習の成果を發揮した。

交流ゴルフコンペ

グリーンパーク大山ゴルフ倶楽部

8:30 ~ 16:00



おめでとう!!

個人成績

- 優勝 村上幸司(今治YEG)
- 2位 大塚雅司(岡山YEG)
- 3位 生本 覚(岡山YEG)
- BB賞 松原 勝久(氷見YEG)

都道府県団体成績

- 優勝 岡山YEG
- 2位 京都YEG
- 3位 勝田YEG1位



前泊者交流会

ホテルサンルート米子

18:30 ~ 20:00



テーブルいっぱいになべられた海の幸



商青連副会長 清水雅文 鳥取県連3単会
会長 小谷知史 岸田寛昭 幅田明夫
乾杯!!



商青連会長 鈴木悌介の
挨拶で前泊者交流会は
なごやかな雰囲気



中国ブロック代表理事 富永洋一 挨拶



第21回全国会長研修会 ふくい会議のPR
が元気いっぱいになり広げられる

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」

第2分科会
「米子分科会」

第3分科会
「大山分科会」

大懇親会

YEGビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記念式典

記念講演

全国まちおこし物産展

エクスカージョン

「環日本海の玄関口に 鬼太郎あり」

～逆転の発想。鬼太郎の街に学ぶ～

日本海時代を展望した対岸貿易の海の玄関口として、国際的な水産・貿易都市として注目を集めている境港市。国際都市へ期待が集まる一方、ノスタルジックな街づくりで全国から多くの観光客を集めています。マイナスのイメージの強い「妖怪」を前面に出す逆転の発想により、寂れた商店街に活気が戻り、全国から新しい顧客を集めるようになりました。参加者には、実際に官民一体となった観光ルートを回っていただき、発想の転換から新しい価値を見出す商品づくりを学んでいただくと同時に、妖怪との出会いで心を癒し、楽しく交流していただきました。



「皆よく食べてくれたなあ」
カニの試食会にて

境港分科会

境港市 水木しげるロード他

12:00 ～ 17:00



3班に分かれて JR 米子駅「0番線」ホームから境港分科会会場へ



貸切り列車にはお座敷タイプも



(1)「鬼太郎列車」

全長わずか 17.9km、単線。自動車社会の昨今は存在感の薄い路線であった。しかし、車体に鬼太郎のペイントをした事で、話題の路線へ好転した。鬼太郎列車に乗車した瞬間から物語は始まります。



ねずみ男がお出迎え

3便のJRと、空港からのシャトルバスと、車で直接境港へ入るという3つのルートで受け入れました。JRの協力でお座敷列車を利用できたので人数の調整が楽でした。



(2)「水木しげるロード」

駅を降りると、妖怪達の町です。駅前商店街が妖怪の登場で転生、生まれ変わりました。800mの通りに83体の妖怪達がずらりと並び、少し寂れた風景も妖怪と不思議なハーモニーで活かされています。



歩道のあちらこちらで妖怪たちと目が合う

境港観光協会の全面的協力のほか、境港市、地元自治会の協力で賑やかにお客様を歓迎することができました。ロード、記念館からタワーまではシャトルバスを運行した。時間を自由に使えるシステムにしたので、ルートの説明に工夫をしました。



(3)「水木しげる記念館」

2003年3月にOPENの記念館。ゲゲの鬼太郎というブランドを生み出した水木しげる氏の哲学・創造力や、世界各地から集められた妖怪に関する珍しい品々には、参加者の発想が好転する鍵が隠されています。



妖怪について、かなり詳しくなったかも

入場者数を管理するため分科会パンフレットに三角券を作成した。しかし用意したルートとは別に、パンフレットを持たずに来られる方が多かったので、その場に対応し、入場していただきました。



(4)「夢みなとタワー」

海沿いにそびえ建つタワーでの自由行動。世界最大規模の立体映像システムで環日本海交流時代の勉強をするもよし、温泉から海を展望するもよし。



大盛況だったカニの食い放題。

カニの試食会を実施した。予想以上の人気でカニが不足した。自由行動の時間を有効に利用して頂くことができた。

やったあ！大成功！

天気が良く、楽しい雰囲気でもらえた。当日参加の人、翌日また見学される方などもおられ、たくさんの方に足を運んでもらえました。

こんなはずでは・・・

カニが予想以上に人気があった。予定より遅い時間に見学される方が多かった。

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」

第2分科会
「米子分科会」

第3分科会
「大山分科会」

大懇親会

YEGビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記念式典

記念講演

全国まちおこし物産展

エクスカージョン

「逆転の発想が ビジネスを変える」

～(株)ハンディネットワークインターナショナル
春山 満 氏に学ぶ～



持った本当の意味でのバリアフリー社会なのではないでしょうか。進行性筋ジストロフィーを発症、首から下の運動機能が全廃という逆境の中で福祉機器ビジネスを手がけ、総合ヘルスケア会社「ハンディネットワーク インターナショナル」を設立して、世界が注目するビジネスにまで発展させた春山満氏の講演会を開催し、これからの日本の姿、ビジネスの姿を考える機会にさせていただきたいと考えました。

米子分科会

米子市文化ホール

14:30 ～ 16:00

社会情勢が日々ドラスティックな変化を続けている現代。ビジネスにも発想の転換がキーワードになっています。逆境の中から、チャンスをつかんでゆく力こそが、我々にますます求められているのです。

一方、YEG が創る美しい日本の姿のひとつは、危機管理意識をきちんと

講師プロフィール 春山 満氏(48歳)

昭和29年兵庫県に生まれ。24歳より進行性筋ジストロフィー症を発症。現在、首から下の運動機能を全廃。昭和60年全国で初めての障害者と家族関係者のための「障栄福祉情報センター」設立。昭和63年全国初の福祉のデパート「ハンディ・コープ」を開業。平成3年自らの体験と、これまで培われ



てきたネットワークを基に「ハンディネットワーク インターナショナル(HNI)」を設立。

東京海上火災保険(株)、トヨタ自動車(株)、大塚製薬(株)・・・等、他、多くの企業プロジェクト他、建設省等の公的プロジェクトも多数手がける。幅広いネットワークを通じての独自の視点と着眼はマスコミにも注目されている。

心に残った言葉の数々 (ほんの一部ですが)

失くしたものを数えるのではなく
残っている機能を120%活かす

高付加価値は高くても売れる
(事実、春山氏の会社で扱っている人間洗濯機は500万円もするがバカ売れしている)

「あたりまえの幸せに」に根ざすことができれば日本は大丈夫。

死にたい奴は死んでゆけ。オレはこれから朝めしだ。

リーダーの資質とは

- フェアで厳しいこと。(もちろん自分にも厳しく)
- 言い訳はしない。
- 背中をしっかりと見せる

すべての産業にニッチ(隙間)はある。
ニッチのガリバーになれ。

試される時代に入った。

参加者の感想

本来はサービス業であるはずなのに、現在の病院は全く患者のことを考えていない。自分が受けた不当な扱い、またそんなことがまかり通っている矛盾だらけの病院の現状を徹底的に紛糾、改革に臨んでいらっしやると聞き、全く共感しました。(46歳 女性)

春山氏の精神力に感服しました。(38歳 男性)

大変感銘を受けました。自助の大切さを再確認しました。(60歳 男性)

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」

第2分科会
「米子分科会」

第3分科会
「大山分科会」

大 懇 親 会

YEG ビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記 念 式 典

記 念 講 演

全国まちおこし物産展

エクスカージョン

「大自然で

ビジネスは転生する」

～環日本海を臨む霊峰 大山 に学ぶ～

韓国とのかかわりの深い大山。また、中世には靈験あらたかな山岳信仰の山として多くの僧侶が修行に訪れ、隆盛をきわめました。明治時代までは、神格化されていた大山は汚れた者が登って踏み荒らすと神のたたりがあると考えられ、登山は御法度として禁止されていました。

大山周辺は、神秘にあふれています。その大自然のエネルギーあふれる空気の中で転生し、新たな価値観を創造していただきたく企画しました。

大山分科会

とっとり花回廊、大山みるくの里

13:00 ～ 17:00



(1)「とっとり花回廊」

県立フラワーパークとして平成11年に開園。大山を臨む約80haの敷地で世界各国の植物に親しむことができ、広大な園内はバリアフリーを基本方針に置いたやさしい設計。経営面でも注目を集めていることから、発想の転換のポ



鬼太郎バスで会場に入り、とっとり花回廊の上場園長よりビジネスについてミニ講演を聞く。

(2)「大山まきば みるくの里」

大山の中腹に位置し、酪農施設と併設した観光拠点のひとつ。眺望が良いため、大山から日本海・そして大陸へとつながる地形を観察することができる。



名物のソフトクリームを食べていただいた。そして車中では、鳥取県に関するクイズを実施し、正解者にはカニをはじめとする名物を景品で出しました。

(3)「天然の観光地 大自然大山視察」

環日本海のレジャー・観光の拠点であり、山陰の中枢を担い、利用者数は全国有数の規模を誇ります。観光だけをとっても春夏秋冬一年中楽しめ、歴史的文化財も豊富です。又、周辺施設及び移動経路の充実を見ると幾通りもの楽しみ方を予感させます。



大自然大山視察：紅葉のシーズンで美しい国立公園を眺めながら環日本海、歴史、逆転の発想を盛りこんだ説明をする。

やったあ！大成功！

天候に恵まれ、自然をゆったり味わってもらうことができました。かたくるしくない形で勉強ができました。

こんなはずでは・・・

特にありません

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」

第2分科会
「米子分科会」

第3分科会
「大山分科会」

大懇親会

YEGビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記念式典

記念講演

全国まちおこし物産展

エクスカージョン

カニ・洋食・韓国料理・ロシア料理
食べ放題！！

全国から来られた YEG 会員の皆様に、
鳥取県の良さを ここならではの食 と
ここならではのおもてなし を通して、
「また来てみたい」と思って頂ける
満足ある懇親会を目指しました。



最後は小田原バンドと会場が一体となり、
友情を深めた

大懇親会

米子コンベンションセンター

18:00 ~ 19:30



迫力ある僧兵太鼓で歓迎



全国から参加頂いた YEG メンバーに、カニのメイン会場、洋食中心の会場、韓国ロシア料理の
会場と 3 箇所に分けて、いろいろの料理を味わっていただきました



鬼太郎ファミリーと共に登場の
竹川副会長と関専務理事



足立実行委員長
この歌は本当にこれで最後です (?)



鈴木会長により、荒濱大会会長の
「信念」が朗読される



感動で少々緊張ぎみの荒濱大会会長



古泉相談役による、乾杯



女優の司葉子さん
も駆けつけて下さ
いました。



会場で見かけた
着物美人

やったあ！大成功！

こんなはずでは・・・

ウェルカムフードと太鼓のおかげで開宴にメリハリができた
3 会場を皆さんが混雑せず食べ歩いていただけた終了時
間も守られ、内容も充実した大懇親会になった

大量に用意したはずのカニが、
すぐになくなってしまった

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」

第2分科会
「米子分科会」

第3分科会
「大山分科会」

大懇親会

YEG ビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記念式典

記念講演

全国まちおこし物産展

エクスカーショ

逆転の発想で
ビジネスが変わる！！



進地域)を紹介し新たなビジネスアクションを提言しました。そして、全国から集まる YEG の仲間との出会いを「転機」として捉え、新しいビジネスチャンスの発見、自社商品の PR・商談をしていただき、これからのビジネスに大いに役立てて頂くための出会いの場として提供しました。

また、参加企業を大会ホームページ及びメールマガジンに掲載し、全国会員約 3 万人に対して事前 PR として発信し、ビジネスチャンスの拡大を図りました。

YEG ビジネス交流プラザ

米子市文化ホール

10:00 ~ 17:00

大会コンセプトの「環日本海交流新時代」をテーマに、開催地の特性として、日本海対岸諸国とを結ぶ陸海空の玄関である鳥取県西部 FAZ(Foreign Access Zone 輸入促

出展者リスト

商青連	ビジネスネットワーク委員会	松江	(有野口木材店	玉野	※玉野商工会議所で6社・3ブースで出展
明石	ビジネスフォレスト	玉野	玉野商工会議所	加賀	(有)きもの処 にしの
鳥取	ソングズ(株)	玉野	[(株)日本情報管理システム]	安城	(株)車輪庫
米子	(有)荒濱建築工務店	玉野	[タマデン工業(株)]	安城	(株)絆屋コーポレーション
米子	(株)エッグ	玉野	[関西工業(株)]	米子	(有)フレックスランド
米子	美保テクノス(株)	玉野	[三井造船(株)]	秋田	(株)大門電機商会
大村	株式会社池田産業	玉野	[香本工業(株)]	米子	東京印刷(株)・日本音楽熟成協会
倉吉	石田工業(株)	玉野	[テイコク(株)]	松江	和幸 株式会社
				吹田	ART WORKS



きもの処 にしの

高価な加賀友禅の着物に皆足を止め見とれていました

特に活気のあったブース



(株)車輪庫

今年も契約できたとか？



ビジネス交流プラザ景品交換

鬼太郎ファミリーのピンズが意外と大人気

やったあ！大成功！

会場をコンパクトなスペースにしたことで、出展者と来場者のコミュニケーションがとりやすかったようです。

こんなはずでは・・・

特にありません。

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」

第2分科会
「米子分科会」

第3分科会
「大山分科会」

大懇親会

YEGビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記念式典

記念講演

全国まちおこし物産展

エクスカージョン

ええもんいっぱい
売りました。
買いました。
個性あふれる店舗が
大集合！！

おもに県連会員企業、県内市町村の物産の出展を募り、全国から集まる YEG の仲間と商売の原点である対面販売で、地元物産品を通してコミュニケーションを図りました。また岡山県、京都府、福井県からもご出店いただき地元の一般のお客様にも楽しんでいただくことができました。

ここでお土産を買って下さった全国の YEG 会員も多いと思います。

ありがとうございました。

全国まちおこし物産展

米子市文化ホール

7日 10:00 ~ 17:00
8日 10:00 ~ 16:00



全店舗の紹介

新見YEG	(有)新見YEGプロダクツ	ええもん会	(株)きさらぎ妖怪舎	境港物産振	(有)こめや産業
鯖江YEG	クッキング福井(株)	ええもん会	(株)益尾酒造本店	境港物産振	松本甲一郎商店
一般	竹尾食品	ええYEG	寿製菓(株)米子支店	境港物産振	南家織物
倉吉YEG	(株)白山	ええもん会	大山ハム(株)	一般	(株)日本海直販
京都YEG	(株)たけのうち	ええYEG	(有)板見製館所もちっ子庵	一般	県立鳥取商業高等学校
米子YEG	(株)まるは	ええもん会	(株)ジェイアールサービスネット米子	一般	ダイヤモンド
一般	夢みなとビール(株)	ええもん会	(株)彩雲堂	一般	八幡物産
米子YEG	(株)米吾	ええもん会	こばやし農園	一般	白鳳の里
ええもん会	久米櫻酒造(有)	ええもん会	日本庭園 由志園	一般	ゆうパック
ええもん会	(有)長田茶店	ええもん会	米子中浦(株)	一般	みずほ米
ええもん会	宝販売(株)米子営業所	境港物産振	(有)赤石商店	ええもん会	(有)ロイヤルコーヒー

特に活気のあった店舗の紹介



米子ええもん会
地元の物産に興味津々



妖怪舎
さすが鬼太郎グッズ、
爆発的な売れ行き



鳥取商業
高校生が運営する楽しいお店

やったあ！大成功！

こんなはずでは・・・

お客様の導線が計画どおり大成功、
地元の一般客も呼び込みに大成功

抽選会での大当たりが思ったほど出せなかった。

記念式典

米子コンベンションセンター

9:45 ～ 11:20

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」
第2分科会
「米子分科会」
第3分科会
「大山分科会」

大 懇 親 会

YEG ビジネス交流プラザ
全国まちおこし物産展

8日 記 念 式 典

記 念 講 演
全国まちおこし物産展
エクスカーショ



ご来賓の方々



日本商工会議所 会頭
山口 信夫



鳥取県商工会議所連合会 会長
八村 輝夫



米子商工会議所 会頭
永瀬 正治



中国経済産業局
西出 徹雄



参議院議員
田村 耕太郎



鳥取県知事 片山 善博



米子市長 野坂 康夫



全国商工会議所連合会 会長
鈴木 悌介



次年度商青連会長
小園 浩幸



米子大会 大会会長
荒濱 健太郎



米子大会 実行委員長
足立 耕太郎



大会旗は帯広 YEG の手に



北の国から熱き思いを運んでくれました。



第21回全国会長研修会ふくい会議 PR

- 6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会
- 7日 第1分科会
「境港分科会」
第2分科会
「米子分科会」
第3分科会
「大山分科会」
大懇親会
YEGビジネス交流プラザ
全国まちおこし物産展
- 8日 記念式典
記念講演
全国まちおこし物産展
エクスカージョン

「逆転の発想」

～ ジャーナリスト 筑紫哲也氏
鳥取県知事 片山善博氏 対談 ～



会場ステージには「逆転の発想」というテーマに相応しく、日本を逆さにした地図がスクリーンに映し出されており、筑紫氏が地図を見ながら、片山知事に「この辺ではこの地図は良く使われていますか？」という問い掛けに対して「私の知事室には飾ってあります」という対応にて記念講演が始まった。

対談の前半は逆さ地図を見ながら、かつては日本海側が交通の要所であった事、時代の背景に沿って、又日本が国造りをしていく中で交通の流れや機能、人口が日本海側から太平洋側へシフトしていった経緯などを、又中盤から後半にかけては、農業・地方分権などあらゆる角度から、それぞれの「逆転の発想」についてお二人に語っていただきました。お二人とも本当に熱っぽく語られ、又語り口調もとてもテンポが良く自然と話に聞き入ってしまう感じでした。そして時間があっという間に過ぎてしまい、もっともっと話が聞ければという思いを抱きつつ終了、とても内容の濃い講演であった。

記念講演
米子コンベンションセンター
11:50 ～ 13:10

講師プロフィール



筑紫 哲也(ちくし てつや)

- 1935年 6月大分県日田市生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。
- 1959年 朝日新聞社入社。支局勤務を経て東京本社政治部記者、沖縄特派員、ワシントン特派員、外報部次長などを歴任。
- 1984年 朝日ジャーナル編集長を勤め、「神々」「新人類」「元気印」などで話題を集める。
- 1988年 朝日新聞編集委員としてニューヨーク駐在。
- 1989年 朝日新聞社退社。TBSテレビ「筑紫哲也 NEWS23」のキャスター編集長として出演。
- 2003年 早稲田大学大学院公共経営研究科教授に就任。
- <受賞歴>
- 1979年 ギャラクシー賞受賞 テレビ朝日「こちらデスク」
- 1993年 ギャラクシー賞受賞 TBSテレビ「NEWS 23」
- 1999年 国際エミー賞優秀賞受賞 TBSテレビ「NEWS 23」



片山 善博(かたやま よしひろ)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1951年 7月 29日生まれ | 1988年 9月 自治省財政課課長補佐 |
| 1974年 3月 東京大学法学部卒業 | 1990年 4月 自治省国際交流企画官 |
| 4月 自治省入省 | 1992年 4月 鳥取県総務部長 |
| 1979年 7月 国税庁能代税務署長 | 1995年 7月 自治省固定資産税課長 |
| 1980年 7月 鳥取県地方課長 | 1998年 1月 自治省府県税課長 |
| 1981年 11月 鳥取県財政課長 | 12月 自治省府県税課長を退職 |
| 1983年 11月 国土庁土地政策課課長補佐 | 1999年 4月 鳥取県知事当選 |
| 1985年 10月 自治省地域政策課課長補佐 | 2003年 3月 鳥取県知事選に再選 |
| 1987年 6月 自治大臣秘書官 | |

8日 記念講演

筑紫氏・鈴木会長 対談

記念講演後

筑紫氏・鈴木会長対談

米子全日空ホテル

記念講演終了後



筑紫哲也氏・鈴木悌介会長 対談



逆境の時代に於ける YEGの役割

鈴木 本日はお忙しい中、私どもの全国大会で
ご講演いただきまして、ありがとうございます。
ました。

私達は中小企業の親の商売を受け継いだ
ものがほとんどです。当然『守り続けなけ
ればならないもの』はありますが、モノが
売れない時代このままではいけない。『変え
なければいけないこと』がたくさんありま
す。一度、自分の仕事を見直してみること
がすごく必要だと考えています。

筑紫 日本の社会はコンセンサス社会で、日本
中シャッター街になっているのは、その悪
い面が出ているからですね。日本の商店街
で、温泉街もそうですが、団体がなにかを
やろうとしても、変わろうとしても誰
かが反対してしまうと、全員が一致しない
と、誰も動かない、動けないんですね。青
年部が稟議を出しても、ここがすごく難し
い。

結局、組織じゃなく個人が始めて、それ
に賛同していく人が増えてきて・・・とい
う形が一番現実には成功している。そこで
青年部がそれとどう関わっていくかです
ね。あるいは青年部が中心になってやれば
もっとダイナミズムが出るはずなんです
ね。

温泉街について言うと、日本でも有数の
温泉の中で、ちょうど青年部に当たる人

が、何人かで、どうにかしようと考えても親
世代にどんな試みも全部阻止される。いよい
よ閑古鳥が鳴き始めて、ようやく試みを始め
ることができたという事例が全国で随分あり
ますよね。

例えば滋賀県長浜の黒壁スクエアなんかも
成功例だけど、あれもやはり、一人がやり出
してそれに皆がついていったという感じだす
ね。そういうことを、組織上やれるのか？あ
るいは誰かがやろうとした時に皆がそれをバ
ックアップしようとする形になれるのか？そ
ういうことが青年部にできるかどうかです
ね。

全体が変わろうとすることは本当に難し
い。何かしようとする必ず反対論が出る。
そうなる組織論なんです。組織が全員が賛
成しなくても誰かやりたいという奴がいれば
やらせるといふルールを作れるかどうか。ル
ールの問題がすごくあると思うんですね。
古い組織であればあるほど名前があるほど小
回りが利かない。膠着してしまっているとい
うことがあるんですね。全国のどこかで、
青年部が変えたり、始めたりした事例はあり
ますか？

鈴木 帯広の青年部でいくつかおもしろいこ
とをやっています。帯広の町の商店街の
15台ほどの月ぎめの駐車場に『北の屋

『台』という屋台村を作ったんです。もう5年ほどです。今では年商2億ぐらい、年間20万人くらい人が来るんですよ。単なる発想の転換で、今まで15人にしか意味がなかった場所が20万人に意味があるようになり、月に15万円、年間に200万円しか収益がなかったのが年間2億円の富を生むようになりました。そこで、もうひとつ新しい事業を考えました。

帯広というところは冬は何もない。でもここは逆転の発想で「こんなにすばらしい雪景色があるじゃないか。」ということ、畑の真ん中に、ビニールハウスのレストランを造ったんです。冬限定、雪があるときしか営業できない本格フランス料理の店しかもビニールハウスです。やり始めて2年目ですが、1年目から昼夜満杯です。そういう試みや組織というのも、青年部そのものとしては反対意見が必ず出てくるので、それはいわゆるNPOのような別の組織、青年部のメンバーが中心になっているのだけれども商工会議所のものではない組織で実現したものです。このようにいわゆるコミュニティビジネスというコンセプトでNPOや組合を作るというケースがこれからは出てくると思います。多分そういうことって

利益最優先に考えるとなかなかやる人間がいないし、かといって行政でもやる気がないという状況下で、新しい社会的なニーズがきつと出てくると思うんですよ。そんな中で我々の組織が理想的にそういうものとかかわれる潜在力を持っているのかなと思います。

筑紫

組織論でね。何かを変えよう始めようとする時、立ちはだかる壁を崩したい時は、垂直に考えるんですよ。

全国組織があつて支部があつて・・・全体の商工会議所があつて青年部があつて・・・これは縦の関係ですよ。ところが今この話でもそうだけども横をどう作れるかが問題です。生き延びた企業によくあるのはね、全体が大きな軍艦、タンカーのようになっているわけだから、それ全体が右や左に動くとき波が大きく大変なんですね。

そういう時どうしたらいいかというとき、タグボートをいっぱい出すんです。いろんなところをタグボートでトライしてね。こっち側に魚がいなくとも引き上げればいいわけですよ。たくさんそういうものを出そうとした場合、上下関係があると駄目なんだよね。横につながらない

と・・・。NPOやNGOがこれだけいろいろ拡がっているのは縦がないからですよ。まあその欠陥もありますけどね。だから垂直、統合的に組織を考えるか、もう少し横に考えるか、それから、そこでのコンセンサスを無理して取るか取らないか、「やりたい奴がやっていたいい場所なんだよ。ここは」というような柔軟性をどこまで持ち得るかですよ。そこが今一番問われているんですよ。それが青年部に限らず、企業も含めたこれからの組織のあり方ですね。

鈴木

私もすごくそのことを感じています。今ITが進んだのでそういう組織がこれからは成り立つ時代ですね。私達の組織は、上の方針を決定してそれを各地でやりなさい。という組織では決まらないので、そういう意味でまたポテンシャルがあるんじゃないかなと思います。地域で生まれ育って、地域が大好きな者ばかりです。「地域のために今なにが必要か」という思いで努力していくことが青年部の基本活動です。全国組織の役割というのがそこを横につないでゆく、知恵を回していく、サポートしていく。そういうこ

とだと思っております。だからとてもやりがいのある仕事だと思っております。ただもう少し頑張っていることをうまく外に発信していかねばなりません。

筑紫

具体的に何かをどんどんやっていけばいいですよ。「やっているのは自分たちなんだ」ということが見える形の活動をもっとやった方がいいかもしれません。



「逆転の発想」

筑紫哲也氏・片山善博知事 対談内容



筑紫氏：(逆さ地図を見ながら) これはこの辺では結構見慣れている地図になっていますか、もう既に。

片山氏：そんなに普及していませんけど、ちなみに私の県庁の知事室にはこの地図は掲げてあります。



筑紫氏：すぐ思い浮かぶのは、日本語での放送で使わない様にしているのが「裏日本」という言葉で、「裏日本」というとこっちだと言われてきています。これは歴史的にみてもおかしいです。かつて高速道路は海なんですよね、北前船も日本海側を通ったし、動脈もこっちにあったのでこの地図を見ても自然ではないかと思う。

片山氏：(地図を見ながら) これ見ますと、物の見方がかなり変わってくるんです。私達の鳥取県、島根県は普通の地図を見ますと東京から遠いですし辺境という感じを受けるんですけど、こうやってみますと何となく中心に近いという感じになるんです。明治の初めの日本列島の有様を調べてみますと、人口が一番多かったのは新潟県なんです。何故かというとな新潟は米処で食料が生産できる、そこに人口が集中したんです。都市が出来始めてた頃の人口を順番に並べてみると、鳥取市は30位以内に入っているんです。戦後米ソの冷戦構造の中で国造りをした時に、明らかに太平洋側にいろんな機能や人口がシフトしていき、日本海側が寂しくなってきた。しかし、1990年代になって米ソの冷戦構造が終わって、日本海を取り巻く環境も随分変わってきた。ソ連が崩壊してロシアになったり、韓国の経済成長があったりして日本海が冷戦の狭間の海から、むしろ大陸と日本列島を結びつける役目をしだした。ここにいると我々はそれをひしひしと感じます。(中省略)

筑紫氏：今、博多と釜山の間にはフェリーがあり、これはものすごい乗船率でどんどんJRと競争して新造船を作ったりしている。そういう流れを見ると、太平洋側だけが玄関だとかいう時代ではなくなりつつある。九州でも裏側の地図を実感させる事がどんどん起きております。一方でアジアに対するゲートウェイになりたいという思いがもちろんあって、その事も進んでいます。特に中国の南の方の場所は。(中省略)

片山氏：今迄日本海に面しているのはハンディキャップを持っていました、そのハンディキャップを克服し、むしろメリットに転化しようというそういう時代だと思うんです。(中省略)

筑紫氏：外との関係もそうだし、国内の行き来もそうなんです。隣の県も結局、羽田に行こう行くのが時間距離が一番近い、なんてことがたくさんあって、横の間に連なる路線というのは日本列島って少ないんです。ところが細長い列島ですから、本当はそこが活性化すればもう少し経済効果もあるし、どういう国を造ろうとしているか、そのグランドデザインが見えない。見えないと言うと、依然として中央集権。今は分権、分権と言っておりますが、大体私はその言葉は気に入らないです。地方という言い方が大体、中央が偉くて地方がその下にあるんだ、分権も権利を分けてやる、という臭いがするじゃないですか。そういう発想では本当の逆転はおきないんじゃないかな。(中省略)

片山氏：さっき筑紫さんが言われましたけど、空気とか水とかはなかなか価値感が目に見えないのですけれど、我々が享受している、水がきれい、空気がきれい、というのは一周遅れであるかもしれないです。(中省略) 今は食の安全が大変重要になってきていますけど、そういう面で鳥取県のように自然環境が豊かな所に、例えば水を使った産業とかを持って来る。これは非常に大手の清涼飲料水メーカーが米子市のちょっと南

の大山の麓に、ペットボトルの大規模な工場を作って全国に向けて出荷していますけど、そういう産業を立地するとかですね、食材のメーカーとか、食品加工とかですね、そういう企業立地がむずかしいと言われる時代でもかなりあるんです。それは環境面だと思うんです。

筑紫氏：私の故郷は、大分県の日田という所です。以前は九州で供給するビールの製造会社は北九州市にあったんですよ。率直に言ってビール工場は先進工業地帯にあったんですが、ビールが新鮮でおいしいイメージにならないので、ついに私の故郷に引越してきて、ビール工場を作りました。そこは水だけは豊富ですから、今、九州一円のサッポロビールは私の郷里で作っているんです。そうすると、価値がきれいにひっくり返った例だと思います。(中省略)

片山氏：実は逆転の発想という事で今思いついたんですけど、日本の農業は国際競争力が全くないと言われていたが、そんな事はないんです。日本の農業、農産物であっても国際競争力を持って堂々と輸出している品目はあるんです。今年の6月に鳥取県で音頭を取って、日本の農産物で輸出をしている物、これから輸出をしようと思っている物「集れ」、と言って集まってもらったんです。「静岡のみかん」「青森のりんご」とか、実はいっぱいあるんです。我々北米に輸出していてカナダで輸入制限を受けているんです。アメリカは非課税商品あるんです。そう言う事を私達は農林省とか外務省に言うんですけど、全く聞く耳を持ってなかったです。ところが最近やっと中央政府も心を入れ替えて輸出についても農産物輸出を促進しようという事になったんです、まあ実はこういう逆転もあるんです。(中省略)

筑紫氏：私はこの2年来、ゆっくりと自分の番組を含めて一つのテーマをやっているんです、「スローライフ」という考え方です。つまり今滔滔と進んでいるのはグローバル化という物の動きです。(中省略)
グローバル化の初期の体現というのは今でもファーストフードですね。マクドナルドでありコカ・コーラである訳です。そうではなくて「周りに取れている物を食べるよ」という運動です。奇しくも何も関係ないのに日本の町作り、町おこし、地域活性の中で「地産地消」というものが出てきました。ここで又最初に言った逆転の発想だと。(中省略)

片山氏：鳥取県も「地産地消」という言葉を使っているんですが、「鳥取県ルネッサンス運動」というのを提唱して実践しているんです。これは広い意味でのライフスタイルの変更とか、価値感の見直しとかそんな事なんです。(中省略)

筑紫氏：片山さんがおっしゃった、人間がそれぞれどういう価値感を持つかという事はすごく大事で、(中省略)例えば鳥取県に来てみれば、ここ鳥取県はいい所じゃないですか。つまりその良さを、何か遅れているだとか、自分達の側にもコンプレックスを持ち過ぎの部分日本人の中には多いと思うんですけど、物指しを変えてみれば全く違う物が見えるということ、そこが今日のテーマでやりたかったことだと思いますが、改めて強調したいと思います。

片山氏：今日は本当に大勢の皆様にも来ていただいて、ありがとうございます。我々鳥取県は、実は61万5000人で日本の中で一番小さい県です。今、鳥取県でこの地域から日本の中で一つのモデルになる様な、そういう地域作りをやりたいなと思って、実は頑張っている所なんです。そういう鳥取県に来ていただいて現場を見ていただいて話を聞いていただいた事を、私達は大変ありがたいと思っています。是非これからも鳥取県の良き理解者、良きファンになっていただければと思います。ありがとうございます。



エクスカージョン

土佐

11月8日～9日

6日 交流ゴルフコンペ
前泊者交流会

7日 第1分科会
「境港分科会」

第2分科会
「米子分科会」

第3分科会
「大山分科会」

大懇親会

YEGビジネス交流プラザ

全国まちおこし物産展

8日 記念式典

記念講演

全国まちおこし物産展

エクスカージョン

■ 「龍馬と土佐の食(酒)文化体験ツアー」

コース4 「龍馬と土佐の食(酒)文化体験ツアー」

・米子から高知のアクセスの良さを生かし、全国のYEGメンバーに観光ルートとしての山陰～四国をアピール

・高知YEGとの連携によって実現させる事が、今後の全国大会の運営に於いて他地区の県連との協働で全国大会を盛り上げるテストケースになり得た。

高知YEGは商青連史上初の試みで、第23回全国大会のエクスカージョンに他県のYEGとして名乗りをあげました。題して「龍馬と土佐の食文化体験ツアー」。お陰様で全国から鈴木会長をはじめ50名の仲間にお越し頂きました。

11月8日、全国大会会場の米子市から高知まで約4時間のバスの旅。勿論バス乗車の時から「土佐の宴会」がスタートしました。

夕刻高知到着後ホテルのチェックインも漫ろに宴会場へと向います。卓上には海産物など土佐ならではの料理でお迎え。お客様の視線はお品書きとお料理に行ったり来たりでした。一通り舌鼓を打った後は土佐独特の文化である献杯(掛け声は「返杯」)合戦へ。程なくボルテージが上がったところでチーム対抗日本酒一升瓶の早飲みゲームとなり、その様子がこの写真です。栄えある優勝は一滴も残さずあつという間に飲み切った北海道北見YEGチームです。大騒ぎの懇親会をお開きとした後はお約束の「夜の街」へ出陣となり、皆様大変お楽しみになられたご様子？

翌日は二日酔いの血眼を擦りながらの観光です。藁で豪快に焼くカツオのたたきを体験し、ご存知桂浜の坂本龍馬の銅像では、顔の真横まで登り龍馬と語り合いました。

お越し頂きました皆様には、高知では「お客」という独特の「もてなしの文化」を堪能して頂けたのではないかと思います。ご協力頂きました米子YEGの皆様、そしてご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。

高知商工会議所青年部 専務理事 竹村克彦



2003年12月1日～1月5日

過去の情報

2004年01月05日	<ul style="list-style-type: none"> ▶ YEG 翔生塾コミュニティビジネス勉強会報告を掲載しました。 ▶ YEG 翔生塾アメリカ研修の事業報告を掲載しました。 ▶ メールマガジン第十七号を発行しました。
2003年12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成16年度 商青連公募委員の募集開始！！ ▶ YEG 大賞一次審査入選事業の報告です。 ▶ 全国コミュニティビジネスシンポジウムが開催されます。詳細はこちらから。 ▶ YEGビジネスプランコンテスト応募期間延長について ▶ ビジネスネットワーク委員会からお知らせです。 ▶ 長岡商工会議所青年部の定例会に鈴木悌介会長が関専務理事・宮島北信越ブロック代表とともに訪問をされました。 ▶ 商工会議所青年部第一回サッカー大会 藤枝大会が開催されました。 ▶ 「Club YEG Danspark」が10月26日千葉市中央公園で開催されました。 ▶ 東北ブロック商工会議所青年部連合会第4回執行部会議・役員会（大館・福島ネット会議）が開催されました。 ▶ メールマガジン第十六号を発行しました。
2003年12月01日	<ul style="list-style-type: none"> ▶ メールマガジン第十五号を発行しました。



シンポジウムやセミナー等で
リアルタイムに意識調査



SAISON FACTORY INC.

12週で分かる 櫻庭周平著
社長の計数



Salon du Massage
IZUMODEN

益田の魚河岸
びーびー屋

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会 情報提供メールマガジン Y E G NEWS 第八号
Y E Gが創る美しい日本 ー自分から、自分らしく、皆のためにー

「Y E G NEWS」は、全国の商工会議所青年部会員の皆様に役立つ情報を発信するメールマガジンです。
より詳しい情報はホームページからご覧下さい。 ⇒<http://yeg.jp>

== ■第十四号 目次■ =====

- 鈴木 悌介会長より
- ホームページ新着情報 (2件)
- 各ブロック大会の報告 (2件)
- 各委員会からの連絡(7件)
- 日本商工会議所からの連絡(5件)

※メールマガジンの配信停止、宛先変更をご希望の場合は、 末尾の説明をお読みください。

■□ 鈴木 悌介会長より <http://yeg.jp/slogan>

「逆転の発想」しっかりと見定めました！ 全国大会、ありがとうございました！

まずは、全国からの3千名を超えるご登録、ありがとうございました。米子の地で皆様とお会いできて、大変嬉しく存じました。全ての皆様お一人お一人とはお話をさせていただくことは叶いませんでしたが、多くのY E Gが集い、その元気を共有できたことは得がたい機会だったと思います。

大懇親会のあのパワーも素晴らしいですが、記念式典での皆さんの真剣な眼差しにも感銘を受けました。(舞台の上からでも、結構、皆さんの顔は見えるのですよ。)

また、今回は残念ながら色々な理由で来ていただけなかったY E Gの皆様にも、大会の盛会をご報告すると共に、次年度は是非ご参加いただきたくお願いいたします。

「こんな大変な時に大イベントではしゃいで何になるの?」というご意見もあろうかと思えます。しかし、「こういう時代だからこそY E Gの出番!」と常々申し上げております鈴木といたしましては、そのY E Gの仲間と文字通り一堂に会してお会いできるこの大会には単なるお祭り騒ぎではない大きな意味があると思えます。もし、その意味が見えにくいのであれば、見えるように変えていくことがY E Gたる者のとるべき行動だと思えます。

変わるとは「視点を変える、視野を広げる、新しい行動パターンに挑戦する」こと。そんな気づきを得た新しいご自分に出会うことができましたか? 「知恵を集め、力を束ね、お互いを活か合う」そんな素晴らしいY E Gの仲間との新たな出会いはありましたか?

大会の終わった今、ご参加いただいた全国からのY E Gのお一人おひとりの心の中にポツと新たな火種を点けることができたと思えば、大会の主催者としてこの上ない幸いです。

今回の全国大会も、全国の皆様には見えないところで大会の主管である鳥取県連、そして開催地である米子Y E Gの皆様の悲喜交々のドラマがありました。大変な思いのご努力がありました。その上に成り立っている大会であるということをご一度知っていただきたいと思えます。それがY E Gの友情だと思えます。「相手のことを慮る」、これ商売の基本だと思えます。

今回の大会を主管して下さった3単会、会員250名という日本一小さい鳥取県連と、開催地として見事大成功裏に大会を運んで下さった米子Y E Gのご努力に最大限の拍手を贈りたいと存じます。

「ハンディキャップをメリットに変える」という心意気を体を張って示してくれたあなたがたこそ、真のY E Gです。全国のY E Gの皆様、来年は北海道の帯広でお会いしましょう。

【追伸 その1】

全国の単会の会長さま、Y E G大賞、待っています! 締め切りが迫っています。今年度の一押し事業で是非ご応募ください。

http://yeg.jp/chart/general_affairs/general_news01/

【追伸 その2】

YEGビジネスプランコンテストの締め切り迫る！ 500万円目指して、あなたのアイデアで勝負してください。

http://yeg.jp/chart/workshop/ws_news01/

【追伸 その3】

翔生塾へ行って参ります！ 来週（17日～22日）はコミュニティビジネスの研修でアメリカのサンフランシスコです。お土産話（話だけですよ。）に「乞う、ご期待！」

■□ ホームページ新着情報

- ・第23回全国大会（米子大会）レポートを掲載いたしました。
- ・企業OB人材フォーラム写真が追加されました。 ⇒詳細はホームページでご覧下さい：<http://yeg.jp>

■□ 各ブロック大会の報告

●中国ブロック大会（下関大会）を振り返って

「集え!!歴氏の舞台へ」をスローガンに開催致しました中国ブロック大会も皆様のご支援、ご協力のお陰で大盛況のうちに無事終了することができました。

時代の変革期には、必ず歴氏の舞台に登場する下関市で先人達が成し遂げた偉業の息吹を五感で感じとって頂ければ幸いです。今から百数十年前、この長州の地より青年の志と力が日本を変革に導きました。先行き不透明な昨今、私達 YEG の志と力を結集し日本を変えようではありませんか！

最後に、商青連の役員の皆様、中国ブロックの皆様、他関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

中国ブロック代表理事 富永 洋一

●九州ブロック大会（高鍋大会）を振り返って

高鍋大会への参加に際し心からお礼を申し上げます。九州はもとより、全国各地からご参集いただいたYEGメンバー一人一人の熱き思いをひしひしと感じ、高鍋YEGの一人として改めてその責務の大きさに身が引き締まる思いです。この大会主管によって得た友情や経験を糧として、今後ますます精進し、高鍋YEGそして九州ブロック連合会の発展の為、努力・精進していく所存です。

ご参加いただいたYEGメンバーはもとより、皆様方のますますの発展とご活躍を祈念いたします。本当にありがとうございました。

九州ブロック代表理事 岩切 正司

■□ 各委員会からの連絡

●コミュニティビジネス委員会

関東経済産業局が事務局になり、ネットワークを構築し、コミュニティビジネスの新たな事業創出を進める組織です。参考になるホームページの一覧をご紹介します。 ⇒詳細情報 <http://yeg.jp/chart/community/index02.html>

●総務委員会

重大発表！ YEG大賞募集開始！！

一年間の集大成、皆様の事業の発表の場。YEG大賞が、手を大きく広げて、全国の事業を待っています。

単会を代表する事業や単会の組織運営の活性化、そして、地域に役立つ模範となる事業を、このすばらしい広場に一同に集め競い合う事を楽しみましょう。今年は、商青連の役員、委員会より、審査委員36名の精鋭を配し厳選された審査項目にそって、1次審査、2次審査をへて、5つのYEG大賞を決定。さらに輝くグランプリを選びます。

ひらかれたYEG大賞への挑戦！！皆様が主役です。待っています。詳しくはホームページをご覧ください

⇒詳しくは：http://yeg.jp/chart/general_affairs/general_news01/index.html

●研修委員会

翔生塾 サンフランシスコ研修は11月17日(月)～22日(土)に開催予定です。翔生塾アメリカ募集案内をダウンロードできるようにしました。

⇒詳しくは：<http://yeg.jp/event/20030708/>

●研修委員会

「YEG ビジネスプラン作成研修会」は目標人員を超えることができました。全国の会員の皆様から興味を持っていただき商青連研修委員会を代表して御礼申し上げます。

【「YEG ビジネスプランコンテスト」募集開始】

8月1日(金)～3日(日)に行なわれた「YEG ビジネスプラン作成研修会」を皮切りに「YEG ビジネスプランコンテスト」の応募を開始しました。中小企業庁長官賞 300万円、日商會頭賞 150万円、コミュニティビジネス賞 50万円、その他若干の特別賞があります。(総額 500万円)審査料 1プラン 1万円で何プランでもOK。YEG 会員なら、単会でも個人でも応募いただけます。募集期間は11月28日(金)まで24時必着です。

尚、YEG ビジネスプランコンテスト審査におけるポイントもダウンロードできるように致しました。こちら合わせてご覧下さい。 ⇒詳しくは：<http://yeg.jp/event/20030708/>

申し込みお問い合わせは

商青連事務局:高野・関口(日本商工会議所中小企業振興部内) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目2番2号まで。

<開催要項> <http://www.cin.or.jp/yeg2/bp-c1.doc>

<申込み書> <http://www.cin.or.jp/yeg2/bp-moushikomi.doc>

●ビジネスネットワーク委員会

青年部3万人をビジネスでつなぐ「ご縁満開YEGビジネスサイト」も登録者が少しずつ増えていますが、普及キャンペーンとして11月末日まで各県10社以上、全国500社(最低300社)の登録を目指しています。取引や提携関係もどんどん発生しています。まだ登録されていない方には是非登録してYEG会員としてのメリットを受けて下さい。

そして、既に登録済みの方に。「会社登録」だけでなく「製品・サービスの登録」もお願いしたいのです。全国の仲間が見ています。どこからビジネスチャンスが駆け込んでくるかわかりません。

こんな商品出したってしょうがないなんて思わず、本業・副業含めて5点まで登録できますので欲張って登録してみてください。

⇒ログイン画面：<http://at.yeg.jp/business/>

アカウントはエンジェルタッチと共通ですが、「ご縁満開YEGビジネスサイト」利用者は単独でも申請できます。アカウント取得方法は上記のURLよりログイン画面に記載してあります。

●広報委員会

商青連ホームページにおけるバナー広告の募集！！

平成15年度 商青連のホームページにバナー広告を募集致します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

⇒詳しくはこちらから：http://yeg.jp/chart/newsletter/newsletter_news01/index.html

翔生35号がホームページからダウンロード出来ます。是非ご覧ください。又単会の役委員会の席で配布をお願い致します。内容は春の陣ブロック会長会議・メールマガジン・ホームページのライブラリーの一覧などです。

⇒ダウンロードはこちらから：<http://yeg.jp/shosei/35/>

■□ 日本商工会議所からの連絡

●新連載！ お役立ち情報

SBI R推進セミナー・東京～中小企業の技術革新のために～ 12月12日(金)、東京にて無料セミナーを開催

日本商工会議所は、平成15年12月12日(金)、東京商工会議所ビルにて「SBI R推進セミナー・東京」を開催します。

本セミナーは、S B I R（中小企業技術革新制度）の普及推進を目的に開催するもので、中小企業庁 S B I R 担当者による説明ほか、中小企業の技術開発と事業化に資する知的財産戦略、産学連携等のテーマについて有識者、経験者による講演を行います。

⇒詳細はこちら：<http://www.cin.or.jp/sbir/2003/sbir2003.htm>

◆問い合わせ：

日本商工会議所 中小企業振興部（TEL：03-3283-7826）

●改正消費税による「総額表示」で何が変わるのか

このたび消費税法が改正され、「総額表示義務規程」が設けられて、平成16年4月から適用されることになっています。前号でもご紹介した通り、日商では、中小企業庁からの委託事業で平成16年度からの改正消費税に関する情報提供を行っています。

ここでは、以下の3つの資料を通じて、総額表示により何が変わるのかをご紹介します、併せて、事業者の皆様からよくいただくご質問を取りあげました。また、総額表示方式の導入による表示価格の上昇が消費者に値上げの印象を与えかねないとして、表示価格を従来通りの金額に据え置くために、取引先に仕入れ価格の引き下げ等を強要することも懸念されるため、そのような事態を招かないよう、日商は公正取引委員会に対し要望を行いました。詳しくは以下のアドレスからご参照ください。

【日商ホームページ「これですっきり改正消費税」】

よくある質問総額表示編 ⇒詳しくはこちら：http://www.taxinfo.jp/frame-q_s.html

【経済産業省資料「消費税の総額表示について」】 ⇒詳しくはこちら：<http://www.cin.or.jp/chusho/shouhizei.doc>

【日商が公正取引委員会に対して提出した「消費税における総額表示方式」

導入に伴う転嫁・表示に関する独占禁止法等の取扱いの明確化」に関する要望はこちら

⇒詳しくはこちら：<http://www.jcci.or.jp/nissyo/iken/031031syohizei-sogakuhyoji-yobo.htm>

●中小企業庁の「事業者ネットワーク“あきんどPLAZA”」の開設と登録者の募集について

中小企業庁では現在、インターネットを活用して中小企業施策等をメールマガジンにより配信する「あきんどPLAZA」を開設し、登録者を募集しています。

「あきんどPLAZA」は、店主や商店街関係者はもとより、自治体や商工会議所の職員など中小商業振興を担当している方であれば、どなたでも自由に登録できるもので、登録者に対しては、商業情報や施策情報、各種セミナー等に関する情報が毎月2回程度メールマガジンが配信されます。また、このネットワークは双方向型となっており、今年度は実験的に、景況調査等のアンケート調査も実施する予定です。

⇒詳細はこちら（中小企業庁HP）：http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/151017akindo_plaza.htm

●第12回地域振興セミナー「“食”を活かした街づくり」のご案内について

日本商工会議所は平成15年11月27日（木）～28日（金）に“食”をテーマとした標記セミナーを、宮城県仙台市、山形県山形市で開催する。本セミナーでは、地域環境デザイン研究所所長・宮原博通氏をコーディネーターに、日本で初めて「スローフード都市宣言」を採択した宮城県気仙沼市や、食べ物を活かし街づくりに取組む栃木県宇都宮市の事例紹介、大型空き店舗を活用した山形県山形市の「飲食チャレンジショップ」の視察、参加者と講師との意見交換など、“食”を活かしたさまざまな街づくりについて考える。 詳細は下記の通り。

◆開催日時：平成15年11月27日（木）～28日（金）

◆開催場所：仙台商工会議所ほか（宮城県仙台市）

◆対象：商工会議所役員、地方自治体役員、街づくり会社・商店街関係者など

◆定員：30名（先着順、定員になり次第締切）

◆参加費：商工会議所役員・会員、地方自治体役員 25,000円／一般 30,000円

（受講料、テキスト代、懇親会費、視察バス代を含）

- ◆内容：1. 「“食”を活かした街づくり（仮題）」地域環境デザイン 研究所所長・宮原博通氏
- 2. 「宇都宮商工会議所の“食”を活かした街づくりの取組みについて」 宇都宮商工会議所
- 3. 「気仙沼市の『スローフード都市宣言』について」 スローフード気仙沼
- 4. 「山形市の『日本一の芋煮会フェスティバル』について」 山形商工会議所青年部
- 5. 参加者と講師による質疑応答・意見交換
- 6. 視察（NANA-BEANS＜大型空き店舗を活用した飲食チャレンジショップ＞）
- 7. 参加者と講師による意見交換ほか

◆申し込み・問い合わせ：日本商工会議所流通・

地域振興部（TEL：03-3283-7838、<http://www.jcci.or.jp/machi/h0311semi.html>）

●公的制度で設備投資をバックアップ

国と都道府県が実施し、小規模企業、及び創業者向けの設備資金助成制度があります（基本的にどんな設備でもOK、導入の際に1/2まで無利子貸付 or 低利の設備リース・割賦販売）。製造業の方が設備を導入する場合はもちろん、例えば、お店をはじめの方が冷蔵庫、ショーケース、エアコン、自動ドアといった機械設備を導入するときにも対象になります。

⇒詳しくはこちら：<http://www.zentaikyo.or.jp/>

なお、各県にある設備貸与機関のうち、東京と埼玉では現在取り扱っていないため、以下の団体にお問い合わせください。

（財）全国中小企業設備貸与機関協会 〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 5階
 TEL：03（5565）0845 FAX：03（5550）8558
 ホームページ：（同上） 電子メール：fvgk9140@mb.infoweb.ne.jp

●商工会議所ビジネス認証サービスのお知らせ

日本商工会議所は、国土交通省、各地方自治体などで導入されている「電子入札コアシステム」に対応した電子証明書（ICカード）を販売しています。

詳しくは「ビジネス認証サービス（タイプ1）」の申し込み受付などを行う専用サイト「ビジネス認証サービス」をご覧ください。

⇒詳細情報はこちらから：<http://yeg.jp/jcci/ninsho>

日商では今後、国税の電子申告・納税や雇用保険の被保険者の資格取得届など電子化が予定されている各種手続きに対応した「一般行政手続き用」と「BtoB電子商取引用」の2タイプの電子証明書も順次発行していく考え。

電子入札を含めた複数の証明書を扱う「総合認証局」として商工会議所会員事業所などに対するサービス強化を目指すことにしています。

メールマガジンバックナンバー12月 1日 第十五号

平成 15 年 12 月 1 日 発行

== ■第十五号 目次■ =====

- 鈴木 悌介会長より
- 各ブロック大会の報告（1件）
- 各委員会からの連絡(3件)
- 日本商工会議所からの連絡(6件)

使命とは・・・

隣国、大韓民国の前大統領の金大中氏にお目にかかってきました。実は、先般の鳥取県米子での全国大会で記念講演の講師をお願いしておったのですが、ご本人の体調がすぐれないということでそれが叶わなくなってしまったという経緯がありました。その代わり、急遽ソウルで会っていただけることになり、去る10月31日にソウル市内のご自宅の隣に出来たばかりの「金大中記念図書館」の応接室へお邪魔させていただいたというわけです。間に入っての労をとってくださった現地の日本大使館の話では、当初、10分程度でということでしたが、結局40分ほどいろいろな話をうかがうことができました。体が本調子ではないご様子で大きな声ではありませんでしたが、背筋をすっと伸ばしたまますぐに前を見て微動だにせず、はっきりとした語り口で、アジアの平和と日韓のあるべき関係について氏の信ずるところを熱く語ってくださいました。今回のような機会ではその場を適度に繕って形式的に済ませてしまえば当初の予定どおりの短い時間で済ませることもできたはずですが、日本の若手経営者へのメッセージということもあってか、本当に真剣に語る姿が印象的でした。主義主張の違いはあるかも知れませんが、そこに本物の政治家、本気の間人を垣間見ることができたような気がいたしました。韓国というわが国とは国情も異なり極端なことが起こりうる国の政治家として、日本のホテルで拉致されたり、一旦は反乱罪で死刑判決を受けたり、数十年にわたる4回目の挑戦でようやく大統領に就任したりとまさに波乱万丈の人生を通じて、一貫して自国と世界の平和についての主張を変えず、今もそのことを真剣に追求している姿に感銘を覚えました。命を賭けて、私利を超えて、信ずるもの・ことの実現を追求するという使命感溢れる姿でした。

「使命」とは文字通り命を使うこと。命を使って守るべきものを守るんだという決意だと思います。翻って、自分のことを振り返ってみる時、自分には命を賭けているものがあるのだろうか？自分は一体何に命を賭けているのだろうか？と考え込んでいる自分がいます。人生の中で人にはそれぞれの使命があると思います。その大小はあるかもしれませんが、貴賤はないはずです。

商売人には商売人としての使命が……。あなたの人生でのあなたの使命は何ですか？

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
平成15年度 会長 鈴木悌介

■□ 各ブロック大会の報告

●東海ブロック大会（松阪大会）を振り返って

東海ブロック大会松阪大会に際しましては、全国各地より多数のご参加ありがとうございました！皆様のおかげをもちまして、1,367名という記録的な登録をいただき、大会も大盛況にて無事終えることができました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

「熱き心に」燃える松阪！商人魂のテーマのもと、熱く開催させていただきましたが、この大会が、今後のビジネスチャンスのヒントとして少しでもお役に立てていただければ、幸いに存じます。

今後も先人たちの“商人魂”を胸に刻み、“YEG魂”として、この不透明な時代を乗り越えましょう！

最後となりましたが、ご参加を賜りました関係各位に感謝申し上げますと共に、この大会を主管頂きました、松阪YEGのメンバーに心より敬意を表します。皆様、本当に、どうもありがとうございました。

東海ブロック代表理事 伊藤 素近

■□ 各委員会からの連絡

●コミュニティビジネス委員会

関東経済産業局が事務局になり、ネットワークを構築し、コミュニティビジネスの新たな事業創出を進める組織です。参考になるホームページの一覧をご紹介します。 ⇒詳細情報 <http://yeg.jp/chart/community/index02.html>

■□ 日本商工会議所からの連絡

●「国際ロボット見本市2004」出展者募集

中小企業庁では、平成16年2月に開催される「国際ロボット見本市2004」への出展者を募集しています。経済産業省中小企業庁、九州経済産業局、中小企業総合事業団、中小企業・ベンチャー総合支援センター九州の主催により中小企業自らの手による新市場の創出を支援することを目的に実施するもので、出展料は無料（2小間分以上からは有料、備品・電気・電話等使用料、搬入出費等自己負担）。申し込み期限（12月5日）が迫っておりますが、ご関心の向きは以下の関連資料をご参照ください。

○「国際ロボット見本市2004」開催概要 <http://www.robotfair2004.com>

本件（内容・出展等）に係る問合せ先： 国際ロボットフェア2004事務局 TEL：092-732-3960 FAX：092-732-3480

メールマガジンバックナンバー12月15日 第十六号

平成15年12月15日 発行

?????????出ません。

メールマガジンバックナンバー1月5日 第十七号

平成16年1月5日 発行

== ■第十七号 目次■ =====

- 鈴木 梯介会長より
- 齋藤 明彦副会長より
- 大脇 唯真直前会長より
- ホームページ新着情報（3件）
- 単会事業情報（1件）
- 平成16年度 委員会専門委員募集始まる！！
- 各委員会からの連絡（3件）
- 日本商工会議所からの連絡（6件）

■□ 鈴木 梯介会長より <http://yeg.jp/slogan>

今年も「自分から、自分らしく、皆のために」

あけましておめでとうございます

健やかな新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

年頭から手前味噌のような話で恐縮ですが、私の一年は今年も初日の出を小田原城の天守閣の上から拝むことで始まりました。私の地元単会である小田原YEGでは「小田原城から初日の出を見る会」という企画を毎年開催しています。小田原城の天守閣（復元ではありませんが）は普段は市営の歴史博物館として使われていますが、以前はお正月には閉まっていた。

「あるものを活かす」という発想で「地元にあるいろいろな資源をもっと活かしていきませんか？」という提案を形にしたもので、一般市民の方々を招待して天守閣から初日の出を見ようという企画です。毎年、事前に申し込みをいただき、50組100名をご招待します。かがり火を焚いて、暖かいトン汁も用意して、おなじみの手づくり甲冑隊がもてなします。今年で13回を数え、小田原YEGの恒例の事業になっております。

さて、肝腎の小田原の初日の出であります。雲間から断続的ではありましたが、真っ赤な大きなお日様を拝むことができました。「戦争の20世紀が終わり、さあ平和の世紀を」と大きな希望を抱いて迎えた21世紀も戦争とテロで幕を開けてし

まいりました。世界中の人々が同じように見るであろうお天道様を前に「世界中の人々が平和で安心して暮らせますように」と祈らずにはられませんでした。（ナイーブと言われるかも知れませんが）。

自分の家族、商売、まちの幸せも、大きな安心があってからこそだと思います。足元をしっかりと見つめながら、世の中のこと、世界のことに興味と関わりを持ってまいりたいと思います。今年も「自分から、自分らしく、皆のために」を信条に・・・。

平成15年度の会長としての任期もあと3ヶ月となりました。「まだ3ヶ月ある！」という気持ちで最後まで全力で走ります。2月の福井での「全国会長研修会」はもう間近、「YEG大賞」と「YEGビジネスプランコンテスト」は最終段階へ、「ご縁満開YEGビジネスサイト」は本格始動へ、等々、まだまだ課題は山積です。同時に、小園次年度会長予定者を中心に平成16年度の準備が着々と進んでおります。

これからも商青連に是非ご期待ください。そして、商青連を、ご自分のご商売に、YEG活動に、どしどしご利用いただければこの上ない幸せです。

この新しい年がYEGの皆様にとりまして、充実した一年になりますことをお祈り申し上げます・・・。

平成16年元旦

日本商工会議所 全国商工会議所青年部
会長 鈴木悌介

■□ 齋藤 明彦副会長より

夢と希望に満ちた輝かしい新春をお迎えの事と存じます。

旧年中は大変お世話になりました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。さて、早いものでYEGは平成15年度も終盤になり、16年度へのパトンをつなぐ時期となってまいりました。

私は一昨年夏に鈴木悌介会長より、副会長の大役をご指名頂いて以来、15年度商青連役員の皆さまと共に鈴木会長を盛り立て、輝いて頂きながら、会長の熱い想いを形にしていく一端を担っていきたいという事と、私を出向させて下さった東北ブロック、山形県連、米沢単会に対して、なにかご恩に報いたいなどと多少気負いながら強く念じておりました。しかしながらこれまで、逆に鈴木会長からはいつも温かく勇気付けられ、ご指導を頂戴して参りましたし、また地元からも必死のご支援を常に頂いて参りました。自身の未熟さを痛感しながら、お陰さまでYEGを通じて得るものも大変大きくございました。私は本当に幸せな15年度YEG活動をさせて頂いて参りました。全国のYEG仲間はもとより鈴木会長はじめ商青連役員、日商事務局、ブロック、県連、そして米沢単会に心より厚く厚く御礼申し上げます次第です。

商青連ではひとつに研修委員会を担当させて頂き、浅井委員長はじめ、まさにキャラの濃〜い皆さんと明るく楽しく、また素晴らしい団結で事業を進めて参りました。

海外研修「翔生塾」では、行き先やSARS、テロに悩まされ、ビジネスプランでは浅井委員長とスポンサー探しに歩きまわりました。（改めて本当に不景気を実感した時でした。）お陰さまで各事業はそれぞれになんとか形にさせて頂き、今となっては本当に良い思い出であり、沢山の事を学ばせて頂きました。ご支援くださいました関係各位、また各事業への参加について格段のご協力下さいましたYEGの皆さまには改めてひたすら感謝の念で一杯です。研修委員会事業は語るに尽くせないご苦勞をされた浅井委員長はじめ研修委員会のメンバーからまた詳しくご報告すると思っておりますので、どうかお聞き届け頂ければ幸いです。

また、もうひとつの担当である東地区では江戸プロ代、坪井プロ代、小暮プロ代と共にこちらも様々な課題について強力なプロ代の皆さまのお陰で着実に推進させて頂いたのではないかと考えております。

そして全国大会はじめ全国各地での会長会議、ブロック大会も全て参加いたしました。本当に各プロ代はじめ主管地の皆さまにはどちらでも温かいお心遣いと感動を頂戴してまいりました。

私は本年度でいよいよYEGの卒業です。思い起こせば本当にあつという間でありました。この間、多くのかけがえの無い友人とのご縁を頂き、またご指導頂き、自分自身と自企業をYEGによって育てて頂いたと思っております。

YEG最後の年に、私の趣味は「商青連会長・鈴木悌介」とさせて頂き、心より尊敬できる人物の元でYEGを締めくくる事ができましたのも本当に幸せでした。

これからもYEGを通じて頂いた沢山のご縁を大切に、「自分から自分らしく皆のために」はもちろんですが、教えて頂いた「覚悟と潔さ」を心に刻んで研鑽に努めたいと思います。本当に全ての事に心より感謝を申し上げます。

15年度最後の商青連事業になる2月のふくい会長研修会も大きな期待と共に全国の皆さまとお会いできる事を大変楽しみにしております。そして、16年度も坪井副会長はじめ多くの人材が東北ブロックより商青連に出向いたします。何卒引き続き厚き友情とご支援のほどお願い申し上げます。

YEGブランドが益々輝いていく事を心より祈念申し上げ、どうか今後ともよろしくご厚誼賜りますようお願いいたします。本当にありがとうございます。

平成15年度 商青連 副会長

齋藤明彦

■□ 大脇 唯真直前会長より

この一年を振り返って・・・

平成十五年度、残すところ三ヶ月となりました。「全国の会員の皆様元気ですかー！」なんか返事返ってきそうですね。まず持って昨年度の平成十四年度は各地で多くの方々から心温まる友情を以て暖かく出迎えを頂きましたことに心より感謝を申し上げます。その節は誠に有り難う御座いました。メルマガをお借りしまして、衷心より厚く御礼申し上げます。時の経つのは早いもので、もう今年度の鈴木丸も、帰還まで後僅かというところまで差し掛かりました。この一年を振り返ってみますとSARSに始まり、衆議院選挙にイラク自衛隊派遣問題と唯一、国民を癒してくれたのは、タマちゃんの出現だったのではないのでしょうか。そして商青連に目を向けてみますと、web上に於けるエンジェルタッチでの全国の皆様との連携、そしてリアルタイムに経済的関わりの持てるYEGビジネスサイト、実り多き十五年度だったのではないかと確信いたします。

全国YEGの同胞の皆さん、殺伐としたこのご時世に、我が国へ活力を注入出来るのは我々なのです。力感溢れるエネルギーな創造力に、豊かな感性から流れ出る斬新なアイデアとユニークな発想、そしてもう一つは何物にも臆することなく勇敢に立ち向かうことの出来る果敢な行動力、それらが我々若手青年経済人の大きな武器なのです。そうそこに至っては、「俺がやらずに誰がやる！」の意気込みこそが今求められているのです。消極的な成功を収めるのではなく、積極的な失敗を恐れる事なく突き進む、それこそが我々青年部の真骨頂ではないでしょうか。

自企業の、地域の、そして国の起爆剤たる我々青年部は、今こそ勇気をもって幾多の艱難辛苦の波を渡り切って行かなくてはならないのです。是非ともYEGという誇りをしっかり胸に刻み込み、胸を張り自信を持って自社企業存続・継承・繁栄の御旗の下に地域を考え、更に経済界のど真ん中を轟直前進（ばくちょくぜんしん）の気構えで奮闘頂ければと思います。末筆になりますが、全国のYEG会員の皆様のご健勝と更なる躍動・躍進・大飛躍に心よりご期待申し上げまして私、大脇からの年頭のメルマガ挨拶とさせていただきます。

平成十五年度 日本商工会議所

全国商工会議所青年部連合会直前会長

大脇 唯真

■□ ホームページ新着情報

- ・YEG 翔生塾コミュニティビジネス勉強会報告を掲載いたしました。
- ・YEG 翔生塾アメリカ研修の事業報告を掲載いたしました。
- ・東北ブロック役員会の写真追加致しました。 ⇒詳細はホームページでご覧下さい：<http://yeg.jp>

■□ 単会事業情報

<http://yeg.jp/tankai>

●天童 YEG

第9回 天童冬の陣 平成鍋合戦

日 時 : 平成16年1月11日(日) 11:00 ~ 15:00

場 所 : 天童わくわくランド多目的広場

交 通 : 電車の場合 . . . JR天童駅より無料シャトルバスにて

お車の場合 . . . 山形県総合運動公園

飛行機の場合 . . . 山形空港よりタクシーで15分

内 容 : 県内外、また世界より38種類の鍋が天童に一堂に会し、味を競い合う食のイベントです。

H P : <http://www.tendocci.com/yeg/>

■□ 平成16年度 委員会専門委員募集始まる!!

—全国の仲間と委員会活動をしましょう。きっと新しい貴方が見つかります—

【公募委員募集について】

16年度は特別委員会のコミュニティビジネス、ビジネスネットワーク委員会の他に常設委員会の研修、広報委員会でも公募委員を広く募集いたします。公募は商青連委員会の活性化と委員会活動を目的に募集いたしております。でも、それだけではありません。公募委員の方は地域と全国をつなぐパイプラインでもあります。また、公募委員の方が近い将来商青連役員として出向したとき、その経験が計り知れないものになると信じて已みません。将来のYEGリーダーを目指す方、商青連に興味のある方などの応募を心からお待ちいたしております。

【公募 委員会名】

<常設委員会> 研修委員会 10名程度

広報委員会 10名程度

<特別委員会> コミュニティビジネス委員会 20名前後

ビジネスネットワーク委員会 20名前後

⇒詳細情報: <http://yeg.jp/20031211/index.html>

■□ 各委員会からの連絡

●コミュニティビジネス委員会

関東経済産業局が事務局になり、ネットワークを構築し、コミュニティビジネスの新たな事業創出を進める組織です。参考になるホームページの一覧をご紹介します。 ⇒詳細情報: <http://yeg.jp/chart/community/index02.html>

■□ 日本商工会議所からの連絡

●新連載! お役立ち情報

【メーカー保険販売のご案内】

独立行政法人 日本貿易保険は、2003年4月1日より、国内製造業者を対象とした短期限度額設定型貿易保険(製造業用: 通称メーカー保険)の販売を行っております。この保険は、1年間の特定のバイヤーと繰り返し行われる輸出または仲介貿易を対象に、輸入制限、為替取引の制限、バイヤーの法的倒産、支払遅延等の事由に起因して発生する船積不能及び船積後の代金回収不能に対して予め設定する支払保険金限度額の範囲内で保険金をお支払いします。

この新商品の販売については、日本貿易保険の本店、名古屋・大阪支店及び東京海上火災保険、三井住友海上保険、損害保険ジャパンで行っております。⇒詳細情報: http://nexi.go.jp/insurance/ins/ins_tanki_frame.html

【お問い合わせ先】 日本貿易保険(NEXI) 新商品販売グループ (TEL: 0120-671-094)

【新商品の販売開始のご案内】

独立行政法人 日本貿易保険は、2003年10月1日より、知的財産権等のライセンスビジネスの国際展開を支援するため、

ライセンスの不払いや送金規制の導入により、知的財産権等のライセンスに係るロイヤリティーの回収が出来ない場合の損失をカバーする保険の販売を開始しました。この保険では、ライセンス契約期間のうち、原則5年間に発生する支払いリスクをカバーし、保険金の支払限度額を設定するなど、ライセンス契約の特徴を踏まえた新しい内容となっています。

この新商品の販売については、日本貿易保険の本店のみの取り扱いとなっています。詳しくは以下をご覧ください。

⇒詳細情報: http://nexi.go.jp/topics-s/doc/ts_030929_01.doc

【貿易保険ご利用のご案内】

◆商工会議所の会員の皆様へ ～あなたの会社のリスク管理は大丈夫ですか～ ◆

経済産業省所管の独立行政法人 日本貿易保険は、皆様の海外との取引における決済リスクを広範囲にカバーしております。輸入制限、為替取引の制限、バイヤーの法的倒産、支払遅延等の事由に起因して発生する船積不能及び船積後の代金回収不能の損害に対して保険金をお支払いいたします。また、海外の投資活動における収用、権利侵害、戦争、天変地異やテロ、SARSによるリスクもカバーしております。詳しくはホームページをご覧ください。 <http://nexi.go.jp/>

【お問い合わせ先】日本貿易保険（NEXI）営業推進グループ（TEL：0120-672-094）

◆問い合わせ：日本商工会議所 中小企業振興部（TEL：03-3283-7826）

●「後継者が企業を変える～世代交代は飛躍のチャンス～」

【国民生活金融公庫シンポジウム】

国民生活金融公庫は、2月6日（金）13：00～16：00、東京・大手町の日経ホールにて、標記シンポジウムを開催します。お申し込み方法をはじめ、詳しくはこちらから。 ⇒詳細情報: <http://www.kokukin.go.jp/pfcj/symposium1224.html>

●「企業年金制度研究会」のご案内

◆中小企業庁では、「企業年金制度研究会」を、平成16年1月下旬から3月上旬にかけ、全国主要9都市（札幌、仙台、さいたま、東京、名古屋、大阪、広島、松山、福岡）で15回にわたり開催致します（受託機関：株式会社大和総研）。研究会では、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー等のコンサルタントや中小企業の方々を対象に、企業年金に係る具体的な制度移行事例等を紹介致します。参加は無料ですが事前の申込が必要（参加申込は専用ホームページからのみ）。定員は先着100～300名（会場により定員が異なります）。詳しくは以下をご覧ください。

○開催概要: http://www.chusho.meti.go.jp/antei/031216nenkin_kenkyukai.htm

○参加申込専用ホームページ: <http://www.cp-kenkyukai.jp/kaijyou.html>

【問い合わせ先】（株）大和総研（年金制度コンサルティング部）FAX：03-5620-5932

E-mail: entry@rc.dir.co.jp

●中小企業のナノテク製品・技術をPRします。～あなたの会社もナノテク製品・技術データベースに登録しませんか？

21世紀を牽引する技術としてナノテクが注目されています。この分野では中堅・中小企業の保有する高度な技術の果たす役割が期待されています。ところが一般的には、こうした高い技術を持っていても、広く認知されていない企業が多いのが実情です。このため、経済産業省の認可法人である（財）金属系材料研究開発センター（JRCM）では、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの委託によりナノテク・製品技術の総合データベースを構築しました。これは広く企業の保有するナノテク製品・技術を収集し、公開し、新たな企業の出会いの機会を増やすことにより、ナノテクノロジーの研究促進と早期事業化を狙ったものです。

わが国で唯一の「ナノテク製品・技術データベース」に貴社の製品・技術を登録して貴社のPRに役立てませんか？

ナノテクに関連があるものなら何でもOK！～例えばナノテク技術を使った口紅等も登録されています

登録方法は簡単、しかも無料！⇒詳しくはこちら: <http://www.jrcm.or.jp/index.htm>

お問合せ先 （財）金属系材料研究開発センター 総務企画部 TEL 03-3592-1282

●商工会議所ビジネス認証サービスのお知らせ

日本商工会議所は、国土交通省、各地方自治体などで導入されている「電子入札コアシステム」に対応した電子証明書

(ICカード)を販売しています。このほど、ブリッジ認証局との相互接続が完了いたしました。これにより、国土交通省等の中央省庁の電子入札案件へ日本商工会議所発行のビジネス認証サービスタイプ1電子証明書を使用してのご参加が可能となっております。詳しくは「ビジネス認証サービス(タイプ1)」の申し込み受付などを行う専用サイト「ビジネス認証サービス」をご覧ください。⇒詳細情報はこちらから：<http://yeg.jp/jcci/ninsho>

日商では今後、国税の電子申告・納税や雇用保険の被保険者の資格取得届など電子化が予定されている各種手続きに対応した「一般行政手続き用」と「BtoB電子商取引用」の2タイプの電子証明書も順次発行していく考え。電子入札を含めた複数の証明書を扱う「総合認証局」として商工会議所会員事業所などに対するサービス強化を目指すことにしています。

メールマガジンバックナンバー 1月15日 第十八号

平成16年1月15日 発行

== ■第十八号 目次■ =====

- 鈴木 悌介会長より
- 清水 雅文副会長より
- ホームページ新着情報(4件)
- 平成16年度 委員会専門委員募集始まる!!
- 各委員会からの連絡(5件)
- 日本商工会議所からの連絡(6件)

■□ 鈴木 悌介会長より <http://yeg.jp/slogan>

ナンバーワンか? オンリーワンか? 2004年1月

「日本で一番高い山は?」と訊かれれば、日本人であればほとんどの人が間髪入れずに答えられますが、さて、「では、二番目に高い山は?」と訊かれて答えられる人は多くありません。(※答えは文末に。)やはり、「一番でなければ他人(ひと)は覚えてくれない」というのは世の常のようです。

さて、毎年1月2・3日に私の地元神奈川をメイン舞台として開催されます大学対抗箱根駅伝は今年も盛り上がりました。実は国道一号線に面した私の事業所の店と駐車場を駅伝の往路4区→5区、復路5区→6区の中継点として使っていただいております。毎年大変な人出で賑わいます。テントを張って選手の控え室を用意したり、大学名の入った旗を用意したり、テレビカメラの檣を組んだり、ラジオの実況放送席を設けたり、弊社の太鼓隊が賑やかして太鼓を叩かせていただいたり、トイレを開放したり……。今や国民的なスポーツイベントになった箱根駅伝に少しでもお役に立てれば嬉しい限りとお手伝いさせていただきます。

駅伝を見ていて思ったこと……。今年は駒沢大の3連勝で終わりましたが、気になったのは1位と2位の差でした。そこで過去5年間のデータを調べてみると、1位と2位の差の平均が4分37秒。秒にすると26.2秒。駅伝往復全体の所要時間は約11時間10分=4万秒。では、1位と2位の差は全体の%になるかということ、実は1%にも満たない0.6%です。たった0.6%の違いで雌雄が決してしまう厳しい世界です。

ランナー一人に換算すると26秒。そのランナーは全国から箱根を走りたくて長年努力してやっと選手に選ばれた精鋭たちです。彼らの文字通り青春を賭けた努力も最後には0.6%というほんの小さな差で勝負が決まるのです。勝ったり負けたりはほんの少しの差で決まってしまうものが多いようです。0.6%の差で勝ち得た優勝はまさにチーム全員の日々の、これも小さい・細かいことの積み重ねの結果です。細かいことを、小さなことを決して疎かにせず、日々の努力を積み重ねていく。小さなことができない人は、店は、そして会社は、決して大きな仕事はできないですね。細かいことを疎かにせず、き

っちりとやること、そしてやり続けることがナンバーワンへの近道ようです。

話はいろいろですが、ミリオンセラーで昨年末のNHKの紅白歌合戦のトリを飾ったSMAPの「世界でたったひとつの花」の中で、「ナンバーワンでなくとも、オンリーワンでいい」という歌詞がありますが、これを商売に、まちづくりに置き換えるとどう解釈したらいいのでしょうか。実際の商売の世界では、あるいは地域間競争の中では、ナンバーワンでなければ他人（ひと）は覚えてくれません。そして覚えてくれなければ来てくれません、買ってくれません、使ってくれません。ナンバーワンになるために大切なことは自分のオンリーワンを創り磨き込み、自らがオンリーワンになることだと思います。ナンバーワンになることは結果であって、掲げるべき目標は「オンリーワンになろう」ということでしょうか。

閑話休題。

去る1月8日にはYEGビジネスプランコンテストの、9日にはYEG大賞の最終審査がそれぞれ無事終了いたしました。第一次審査を通ったビジネスプラン10件、YEG大賞15件につきましては、応募者全員参加によるプレゼンテーションをしていただきました。審査結果の発表と表彰は福井での会長研修会にていたします。併せ、その時点でこのメルマガ、ホームページ等でも発表いたします。楽しみにお待ちいただければと思います。応募いただきましたYEGの皆様には心より御礼を申し上げます。改めましてYEGの皆様の志の高さとポテンシャルに感動いたしました。来年もまたやりましょう！

さて、いよいよ福井での全国会長研修会があと一ヶ月に迫って参りました。福井の実行委員会の皆様は全国からのお仲間のために役に立ちたいという一念で頑張ってください。その思いに応えるためにも、単会の会長さんはもとより、我こそはと思われる若手YEGの方々も、是非参加してください。もちろん、これからの各地のYEGの活動に必ずや役に立つ気づきや学びが満載です。福井でお会いしましょう。暖かくしておいでください。

*日本で2番目に高い山：北岳（山梨県）

■□ 清水 雅文副会長より

旧年中は大変お世話になりました。

新しい年の幕開けを寿ぎ皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

商青連 西地区及び広報委員会担当副会長の倉吉YEG清水雅文です。早くも平成16年になり2回目（今年度通算18号）のメルマガとなります。私は、平成13年度鳥取県連から商青連に出向いたしました。総務委員会に配属され古泉会長、首藤副会長、そして酒田YEG西村総務委員長のもと、WEB利用規定の作成等に関わらせていただきました。14年度は大脇会長、鈴木副会長のもと、企画委員会委員長を務めさせていただきました。各地ブロック大会、全国大会、全国会長研修会、また次年度の大会開催地視察、決定等あつと言う間の一年でした。その中でも一番記憶に残っているのは全国大会大阪大会でした。

企画案承認から大会前日、そして当日のフィナーレ。

何とも言えない充実感に満たされました。そして15年度は鈴木悌介会長より、副会長の大役をご指名いただき、西地区担当並びに広報委員会を担当しております。

広報委員会は丸山委員長のもと、商青連のスポークスマンとしてYEG3万人の会員の皆様への情報提供の手段としてHPの刷新、メルマガの発刊、そして翔生のWEB化を進めています。今年度は年度当初から多くの事業がハイスピードで進んでいます。JC・商工会青年部との交流、商青連会員拡大、各地YEGの訪問等日本国内はもちろん翔生塾での海外研修、全国大会米子大会に関わる金大中前韓国大統領との対談。YEGビジネスサイトの立ち上げ、ビジネスプランコンテスト、YEG大賞等、数え上げればきりが無いぐらいです。これらの情報等をHP、メルマガを通じて全国のYEG会員の皆様へより早く、正確に、且つ有益なものを提供させていただくのが広報委員会の使命です。そしてこの情報が皆様のYEG活動、家業のお役に立てばと念ずるところです。しかしながら広報委員会として努力はしておりますが皆様にご満足いただける域には達してないと思います。今後、忌憚の無いご意見、ご要望を頂戴し16年度へ反映させていただきたいと思っております。

西地区では15年度全国大会米子大会を開催いたしました。鳥取県連は3単会250名の小さな県連です。その小さな県連で全国大会を主管させていただきました。交通の便も良くありません。施設が充実しているわけでもありません。マイナスがプラスを上回っている状況でした。しかしながら県連一丸となって「想いはとどく、夢はかなう」を合言葉にマイナスをプラスに変えていきました。そして皆様方の絶大なるご協力のもとに成功裏に大会を終えることが出来ました。この大会を通じて大会主管は単会数でも会員数でもなく「想い」であるということを実証できたと思います。想いがとどき、夢がかなった瞬間熱いものがこみ上げてきました。

商青連に出向して3年。この間多くの方とご縁を頂き、多くのことを学ばさせていただきました。その中でも鈴木会長はじめYEGの皆様へ勇気付けられ、元気を頂きました。いよいよ平成16年が14年間に渡るYEG活動最後の年となりました。

倉吉YEGの皆様への感謝。応援していただいた皆様への感謝。そして何より家族への感謝を胸に「自分から、自分らしく、皆のために」を座右の銘とし、そして「想いはとどく、夢はかなう」を合言葉にラスト一年がんばりたいと思います。

皆様今年一年ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

15年度 商青連 副会長

倉吉YEG 清水 雅文 (今年年男)

■□ ホームページ新着情報

- ・YEG ビジネスプランコンテスト2次審査の結果です。
- ・YEG 大賞2次審査の様子を掲載いたしました。
- ・YEG ビジネスプランコンテスト応募集計並びに1次審査の結果です。
- ・YEG ビジネス交流会、参加締切を20日まで延長！です。
- ・お待たせ致しました。『翔生36号』を掲載しました。
- ・去年行われた九州ブロック大会（高鍋大会のレポートを掲載しました。⇒詳細はホームページでご覧下さい：<http://yeg.jp>

■□ 各委員会からの連絡

●研修委員会

YEGビジネスプランコンテストには全国ブロックより72プランの応募をいただき有り難うございました。心より御礼を申し上げます。応募いただいた72プランを第一次審査として12月25日、小宮コンサルタント平井氏、鈴木会長、佐藤課長の3氏による厳正なる書類審査の上10プランを選出し、1月8日に第二次審査として、9名の蒼々たる審査員の前で応募者本人によるプレゼンテーションを行ない、中小企業庁長官賞、日商會頭賞 コミュニティビジネス賞審査員特別賞を決定いたしました。受賞者には福井会長会議のYEG総括において発表ならびに表彰と賞金の授与を行ないます。参加者名及び審査員名、一次審査通過者名は商青連ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

●総務委員会 YEG大賞速報！！

全国3万人メンバーの皆様！1月9日（金）にYEG大賞第二次審査会（公開プレゼンテーション）が東商ビル・国際会議場で開催されました。全国より応募いただいた79事業より第一次審査会で全国の模範となる15事業を選出し、今回第二次審査会に於いてYEG大賞5事業（内1事業はグランプリ）とYEG大賞鈴木会長特別賞1事業の合計6事業を選出いたしました。栄えある大賞の行方は・・栄冠の鈴木会長特別賞は・・そして名誉ある栄光のグランプリはどの単会（事業）へ輝くのか・・福井の会長研修会での発表となります。たくさんのメンバーで参加いただき、貴方の目で見届けて頂きたいと存じます。そして79事業すべてをデータベース化し、全国3万人のメンバーの皆様へご活用いただけるように整備いたします。それでは、福井の会長研修会でお会いしましょう！！有り難うございました。

●コミュニティビジネス委員会

関東経済産業局が事務局になり、ネットワークを構築し、コミュニティビジネスの新たな事業創出を進める組織です。参考になるホームページの一覧をご紹介します。 ⇒詳細情報: <http://yeg.jp/chart/community/index02.html>

●ビジネスネットワーク委員会

YEGにビジネスチャンスを探して、今年度最後のビジネス交流会に参加しませんか？

この一年間、各地でビジネス交流会を開催してきましたが、今年度最後の（全国版としては二回目）全国YEGビジネス交流会が、1月24日（土）午後、東京で開催されます。第一回目（9月5日開催）よりは小規模ですが、テーブル交流に重きをおきフレンドリーかつ一人ひとりが主役になっていただけるような工夫をしています。ビジネスになんらかのチャンスを見つけない、作りたいとお思いの皆さんYEG同士だからできる仕事の話というのもあります。参加をお待ちしています。業種、会社規模、参加経験は全く問いません。「プレゼンをするようなものなんて無いよー」という方も大歓迎！です。

⇒詳細情報 <http://www.cin.or.jp/yeg/b-koryukai.doc>

7月にサービスを開始した「ご縁満開YEGビジネスサイト」も1月現在400を超す会員企業様に登録をして頂いています。日々増加中です。年度内500社登録を目指していますが、知り合いでまだ登録されていない会員には是非登録をお勧めして下さい。既に登録の皆様には、もっと詳しい商品・サービスのデータや画像を載せてもらうなど登録内容充実とビジネスボードの積極的活用をお願いいたします。どうぞ毎日の日課に、ビジネスサイトへお越し下さい。

⇒ログイン画面：<http://at.yeg.jp/business/>

アカウントはエンジェルタッチと共通ですが、「ご縁満開YEGビジネスサイト」利用者は単独でも申請できます。アカウント取得方法は上記のURLよりアクセス、ログイン画面に記載してあります。

●広報委員会

商青連ホームページにおけるバナー広告の募集！！

平成15年度 商青連のホームページにバナー広告を募集致します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

⇒詳しくはこちらから：http://yeg.jp/chart/newsletter/newsletter_news01/index.html

■□ お問合せなど

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会メールマガジンに関するお問合せは下のアドレスより承ります。

◆配信先変更・解除 ⇒ http://yeg.jp/mail_mag ◆バックナンバー ⇒ http://yeg.jp/mail_mag

◆感想・要望・お問合せ ⇒ <mailto:info@yeg.jp>

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会

メールマガジン Y E G NEWS

発行：日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会 <http://yeg.jp>

編集：広報委員会 <mailto:info@yeg.jp>

Copyright 2003 Young Entrepreneurs Group. All Rights Reserved.
